

連携医院のご紹介

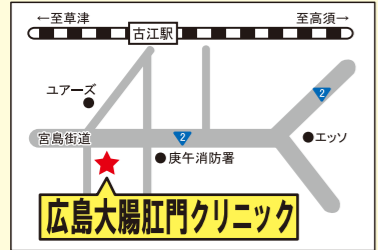
今回は「診断をつけること」を何よりも大切にしております。広島大腸肛門クリニック 中島真太郎先生です。



中島院長

広島大腸肛門クリニック

〒733-0823
広島市西区庚午南1-35-21
電話/082-507-1555
院長/中島 真太郎
担当科/胃腸科・肛門科・消化器科・
内科・外科・リハビリテーション科



○いつ頃開業されましたか。

平成19年10月です。この地は以前に一度、父親が開業していたところで、父親が閉院したのちに新規開業いたしました。

○クリニックの特徴について教えてください。

より専門性を打ち出そうと「広島大腸肛門クリニック」という名称で開業し、主に痔の治療から取り組みました。現在では、胃から肛門に至る消化器全般の内視鏡による診断・治療に力を入れております。また、一般的な胃や腸の病気、生活習慣病の管理なども行い、患者さんからの幅広い相談に応じております。

○診療で大切にしていることは何ですか。

患者さんは自分の症状が病気なのか、病気であれば治療できるのかどうかが一番気になります。そのため、できる限り診断をつけることを大切にしております。その上で、当院でできる治療はしっかりと行い、他院に

紹介する必要がある場合は、そのタイミングを間違わないように気を付けております。

○開業医のやりがいについて教えてください。

患者さんのニーズに対し、診断から治療まで関わることがやりがいですね。そのため、患者さんの話をしっかりと聞くことを心がけております。



広島大腸肛門クリニック外観

【取材後記】

待合室には治療や検査の内容がわかりやすく掲示され、患者さんが安心できるような配慮が感じられました。

もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。
県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

KBネット 医療機関リーフレット

ご利用ください!!



KBネットとは?

KB ネットとは、患者さんの同意を得たうえで、かかりつけ医が当院のカルテ（検査結果、薬の処方等の診療情報）を見ることにより、診療情報を共有できるシステムです。

リーフレットを活用下さい!

KB ネットに参加している医療機関のリーフレットを中央棟 1 階のロビーに置いてありますので、かかりつけ医を探す場合などに是非ご利用ください。リーフレットには医療機関の診療科目、診療時間、診療の特徴などが掲載されています。

現在 183 施設とネットワークでつながっています。



中央棟1階にある KB ネット参加医療機関一覧



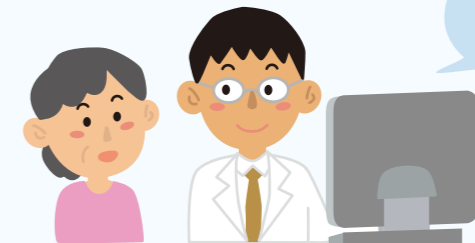
中央棟1階にある KB ネット参加医療機関リーフレット棚

ご自由にお取りください!

かかりつけ医であなたの情報を治療に役立ててもらいましょう!!

かかりつけの先生に県病院での診療内容を KB ネットで見てもらえるから安心!

KB ネットで県病院とつながっているので、県病院での診療内容を見ることができますよ



イメージ図

県立広島病院からのお知らせ

地域健康フォーラム

開催日 平成26年10月4日(土)
時間 13:30~15:30
場所 中央棟2階 講堂
内容 『意外と知らない肺の病気』
①大人の肺の病気
呼吸器内科部長/石川 暢久
②子どもの肺の病気
小児科主任部長/神野 和彦
③ぜん息死ゼロをめざして
医療法人社団江島医院/山本戸 英人
対象 どなたでもご参加頂けます
参加費 無料
問合せ先 地域連携センター
TEL:082-252-6228 (直通)

がん診療連携拠点病院 共催市民講演会

開催日 平成26年10月18日(土)
時間 13:30~15:45
場所 西区民文化センター
内容 『これでいいんだ!がん治療生活』
講師 よつばの会代表 原 千晶 ほか
参加費 無料
申込方法 下記まで①お名前②住所③連絡先を明記の上10月10日(金)までにハガキ・FAX・WEB・Eメールにてお申込み下さい。参加証をお送りします。
※当日は参加証が必要です。
ハガキ 〒731-0293 広島市安佐北区可部南2-1-1 広島市立安佐市民病院 医療支援センター 総合相談室
FAX 082-297-5023
WEB <http://gan-hiroshima.wfamp.com>
Eメール gan-hiroshima@wfamp.com

緩和ケア薬剤師研修

開催日 平成26年10月28日(火)・29日(水)
時間 9:00~16:30
場所 新東棟2階 総合研修室
対象 次の①②のいずれか③の要件を満たす者
①県内の病院、施設又は保険薬局に勤務するがん診療に携わる薬剤師
②緩和ケアに携わっている薬剤師、又は近い将来在宅緩和ケアに携わりたいと希望する薬剤師
③全課程(2日間)を全て出席できる者
定員 40名
申込期間 9月23日(祝)~10月7日(火)必着
参加費 5,000円(資料代)
問合せ先 緩和ケア支援室
TEL:082-252-6262(直通)
※詳細はホームページでご確認ください。
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/muki-shien03.html>

紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費の他2,690円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ち下さい。

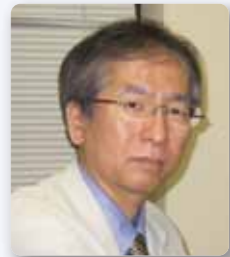
※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承下さい。

KBネット

現在の参加医療機関 (8月22日現在)

183 機関

問合せ先 地域連携センター
電話(082)252-6228(直通)

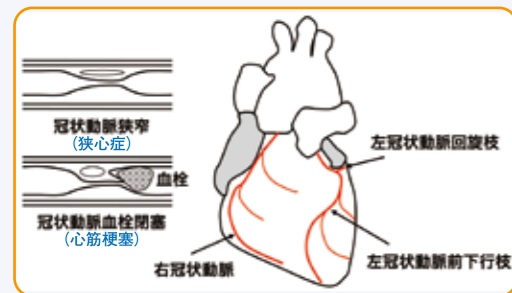


私が県立広島病院循環器内科に赴任してこの9月でちょうど4年になり、本年4月に循環器内科主任部長を受け継ぎました。専門は循環器疾患におけるカテーテル治療ですが、当循環器内科はスタッフひとりひとりの特徴を活かした患者さんのためのレベルの高い診療を目指しています。これからもよろしくお願ひ致します。

心筋梗塞・狭心症のカテーテル治療

心臓を養う冠状動脈(右冠状動脈・左冠状動脈前下行枝・左冠状動脈回旋枝の3本あります)が動脈硬化(油の固まりで柔らかくなったところを粥腫【じゅくしゅ】といいます)によって血液の流れに異常をきたすと心臓の筋肉の酸素不足が起こり、胸痛が生じます。この冠状動脈が細くなるのが狭心症で、急に血の固まり(血栓といいます)で閉塞するのが心筋梗塞です。

カテーテル治療とは、冠状動脈が異常をきたした部位に細いワイヤーを通して網状の金属の筒(ステントといいます)を細長いカテーテルを用いて体外からコントロールしながら血管の内側に留置する治療法です。いわゆる崩落したトンネルを内側から補強し交通が再開出来るようにする工事に似た手術です。当然のことながらこの手術には高度な技術が要求されます。



「私のこだわり」

① ステントは血管に優しく留置する

冠状動脈には細くなったり、詰まったりした部位以外にも粥腫を含んだ心筋梗塞へと進展する危険な動脈硬化が多数存在しています。病変部位はカルシウムの沈着の度合いによって堅さが違うため通過させるワイヤーの種類は多数ありますが、どのワイヤーを使用する場合でも、病変部位以外の動脈硬化はけって傷つけないよう細心の注意をはらいます。それと同時に、ステント留置の時も、その前後の血管は必ずしも正常ではなく、粥腫の破裂をきたさないよう留置します。そのテクニックは長くなるのでここでは記載しませんが、とにかく血管にフィットするよう優しく留置します。特に、心筋梗塞の場合はステント留置部位に

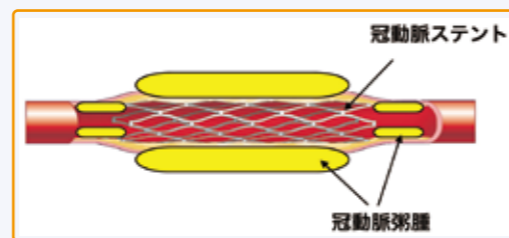
多量の粥腫が存在しており、治療中に粥腫の破片が末梢に流れていき、再開通しても血液の流れが悪いことがあります。この場合も予防方法はありますが、優しくステントを留置することが重要と考えています。

② 抗血小板薬(血をさらさらにするお薬)の服用がカギ

ステントは金属であるため、血管に留置するだけでは血栓で閉塞してしまいます。現在、2種類の抗血小板薬の服用で予防は出来ていますが、ステント留置に伴う粥腫の破裂は避けられないため、治療時に十分お薬が効いている必要があります。ステントの内側に組織の膜が張るまで継続が必要です。そこで、私のこだわりですが、心筋梗塞や不安定狭心症(心筋梗塞一歩手前の状態)のような治療を一刻も早くしなければいけない場合以外は抗血小板薬を十分な期間服用(その間、副作用がないことを確認することも重要です)し、お薬が効いた状態で治療に望むことが重要と考えています。もし、抗血小板薬の服用が様々な理由により困難な場合や体質的に効果不十分な場合には、内科的ステント術よりも外科的バイパス術が有効と考えます。

③ カテーテル治療後の生活習慣の管理が最も重要

ステント治療はあくまでも、冠動脈の局所治療です。先にも述べましたが、治療部位以外にも多数の粥腫を伴った冠動脈硬化が存在します。これらの増大や破裂の予防には、危険因子(高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、肥満等)に対する生活習慣の是正や薬物療法が必要不可欠です。たとえば、粥腫を伴った冠動脈硬化は高コレステロール血症の改善で退縮すると言われています。ステント治療が無駄にならないよう術後の管理を主治医の先生といっしょにしっかりと行ってことで、再発は防げると確信しています。



— アップ —

外科の世界でアップ(虫垂炎)・ヘモ(痔)・ヘルニア(脱腸)というと、一般的には手術としては簡単なので外科研修医の出番となります。ただ中には非常に複雑で難しい手術になることもあります。30年前に私も初めてアップの手術で外科のデビューを飾りました。もちろん最初は手取り足取り、自分で手術をしたような気がしませんでした。しかし、だんだん慣れてくると指導医の先生が手を出す機会が減って、研修医ながらも外科医になったのだという充実感を憶えるのです。

アップは、一般の人には盲腸と言った方が話は通じやすいのですが、医学的には盲腸は虫垂の入り口を含む大腸の一部を指します。正常の虫垂は長さ5-10cm、ちょっと太めのミミズを想像してもらったら良いと思います。虫垂は盲腸から飛び出しており、その場所はちょうど右下腹部に当たります。虫垂の働きについては昔からよくわかっていなかったので「無用の長物」扱いられていたのも事実で、お腹の手術に際してついでにとられていたこともあり。学童期の虫垂はリンパ組織が良く発達しているのだから免疫に関係あるのだらうと思われていたのですが、あまり研究の対象とはならなかったようです。逆に、リンパ組織が発達しているため虫垂の入り口が塞がって虫垂が炎症を起こしてアップになりやすいとも言われており、学童期から中高生にアップが多いのも事実です。ただし、つい最近の研究で、虫垂は腸内細菌のバランスを保つ働きをしていることがわかってきており「無用の長物」ではなさそうです。

アップになると最初は胃の痛み、へその周りの痛み、吐き気などの症状で始まり、段々痛みが右下腹部

に移動してきます。もちろん右下腹部が痛くなる病気はアップだけではありません。婦人科の病気(子宮外妊娠など)、大腸の憩室炎、急性腸炎、尿管結石などなど。現在のようにCT検査や超音波検査が普及していなかった30年前は簡単な血液尿検査とお腹を触って診断していました。したがってアップと言って手術をしたけれども結果的には違っていたということもありました。特に女性の下腹部痛、吐き気は(子宮外)妊娠を疑え、と先輩から教えられました。したがって女性の患者さんには「妊娠している可能性がありますか?」と必ず問診しなければなりません。

30年前の若かりし時の事、中年女性の右下腹部痛を診察した時の事です。いつもの様に患者さんに「妊娠している可能性がありますか?」と尋ねると、ちょっと嫌な顔をして「あるわけじゃないの」との返事、何を怒っているのかと最初は分かりませんでした。カルテを見るとなんと患者さんの年齢は60歳、確かに型通りの問診で失礼な事を聞いてしまったが、すぐに「すみません、拝見したところ40歳くらいかと勘違いしていました」と謝ったところ患者さんはすぐにニコニコ顔に変わり「良いんですよ、よく聞いてくださいました」と。この患者さんは、アップと診断して手術し、子宮外妊娠もないこともちゃんと確認することを忘れませんでした。



院長補佐(消化器・乳腺・移植外科主任部長) 坂本敏行(いたもと としゆき)

病棟編

看護部だより

南6病棟

南6病棟は整形外科疾患・脳神経外科疾患の病棟です。骨・関節・筋肉・神経系の運動器関係に障害のある人、手術を必要としない脳神経外科の病気の治療と、リハビリを中心とした患者さんが入院されています。入院時から患者さんが安心して手術・リハビリ・治療に専念できるように、受け持ち看護師を中心に日々チーム間で患者さんの問題について話し合いを行い、患者さんやご家族の思いを聴き、一緒に問題解決できるように取り組んでいます。また、手術後はできるだけ早く元の生活ができるように、スタッフは明るく、丁寧な対応を心がけています。今ある機能の改善・維持・強化を目標に、早期から専門スタッフ(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)がリハビリをします。病棟においてもリハビリが生かせるように援助・支援を行っています。医師・リハビリテーション科・地域連携センターなどと連携をとりながら、入院中はもちろん退院後の生活を考え自宅退院、転院調整を行っています。



南6病棟スタッフ

体力には自信があります!